

1. 科目名 (単位数)	日本語学V (談話) (2 単位)	3. 科目番号	EJJP2325
2. 授業担当教員	佐藤 仁美		
4. 授業形態	講義と演習、グループワーク	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	ことばをコミュニケーションの手段とするには、表現上の工夫が必要である。具体的には、ことばの選択がなされ、集められコミュニケーションが作られる。コミュニケーション活動において、談話はことばがどのように機能しているのかが問題となる。本講座では、文や会話のまとめりである、文章や談話が、コミュニケーションにおいてどのように構成されているのか学ぶ。		
8. 学習目標	1. 談話とは何か理解し、説明できる。 2. 談話の中の接続表現や指示表現などの機能を理解する。 3. 談話分析について理解する。		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	・各回の授業でワークシートを配布する。次回の授業開始時まで完成させ、提出すること。 ・授業内で会話分析のグループワークを行う。実際に会話の音声録音し、文字化したデータを分析・発表する。調査分析結果はレポートとしてまとめる。レポートは期日までに提出すること。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 使用しない。授業にて資料を配布する。 【参考書】 北原保雄監修、佐久間まゆみ編『朝倉日本語講座 新装版 7 文章・談話』朝倉書店、2018。 高梨克也『基礎から分かる会話コミュニケーションの分析法』ナカニシヤ出版、2016。 高崎みどり、立川和美編『ガイドブック文章・談話』ひつじ書房、2010。 泉子・K・メイナード『日本語教育の現場で使える談話表現ハンドブック』くろしお出版、2005。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 談話とは何か説明できるか。 2. 談話分析について理解することができたか。 ○評定の方法 [授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。 1 授業への出席・受講態度 総合点の30% 2 期末試験(談話分析レポート) 総合点の40% 3 課題(ワークシート)・発表 総合点の30% なお、本学規定により、3/4以上の出席が確認できない場合は単位修得を認めない。		
12. 受講生へのメッセージ	文章・談話の基礎的な知識を学ぶ。知識を詰め込むだけでなく具体例や先行研究例を参照しながら初めて学ぶ場合でも理解しやすいように進めていく。日常に溢れる話しことばによるやりとりを科学的に分析するとはどういうことなのか、授業の参加者同士でことばを交わしながら学び考えていきたい。		
13. オフィスアワー	初回授業で周知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション 「談話」とは 「談話」と「文章」の関係	事前学習	シラバスの授業内容を読み、「談話」とは何か考えてみる。
		事後学習	配布資料を読み直し、「談話の定義」「談話と文章の関係」について理解を深めワークシートを完成させる。
第2回	談話の分類 音声言語と文字言語 話し言葉と書き言葉 談話の単位	事前学習	配布資料を読み、「談話の分類」「談話の単位」について概要を理解する。
		事後学習	配布資料を読み直し、談話の分類について理解を深め、ワークシートを完成させる。
第3回	談話構造 談話の全体構造 相互作用から見た構造 内容から見た構造	事前学習	配布資料を読み、談話の構造について概要を理解する。
		事後学習	配布資料を読み直し、談話の構造について理解を深め、ワークシートを完成させる。
第4回	談話分析 多様な談話分析のアプローチ	事前学習	配布資料を読み、談話分析の多様なアプローチについて概要を理解する。
		事後学習	配布資料を読み直し、談話分析のアプローチについて理解を深め、ワークシートを完成させる。
第5回	会話のしくみ 会話の参加者、参加構造 場と場面 場面を構成する要素	事前学習	配布資料を読み、会話の参加者、場面について概要を理解する。
		事後学習	配布資料を読み直し、会話のしくみ、参加者、場面について理解を深め、ワークシートを完成させる。
第6回	会話のつながり 話し手と聞き手の相互行為 話者交替のルールと沈黙 コード・スイッチング 談話ストラテジー	事前学習	配布資料を読み、会話のつながりについて概要を理解する。
		事後学習	配布資料を読み直し、会話のつながり、話し手と聞き手の相互行為について理解を深め、ワークシートを完成させる。

第7回	話しことばの特徴 話しことばの文法 結束性・一貫性を支える仕組み	事前学習	配布資料を読み、話し言葉の特徴、文法について概要を理解する。
		事後学習	配布資料を読み直し、話し言葉の文法、結束性・一貫性について理解を深め、ワークシートを完成させる。
第8回	話しことばの文法 主語の省略、終助詞、引用 接続詞の機能	事前学習	配布資料を読み、接続詞の機能について概要を理解する。
		事後学習	配布資料を読み直し、主語の省略、終助詞、引用、接続詞の機能について理解を深め、ワークシートを完成させる。
第9回	談話のレトリック ことばの使い分け スタイル・感情・創造性	事前学習	配布資料を読み、談話のレトリックについて概要を理解する。
		事後学習	配布資料を読み直し、談話のレトリックについて理解を深め、ワークシートを完成させる。
第10回	会話の分析 演習1「調査計画」 研究倫理について グループワークの概要説明 グループ決定 調査計画を立てる データの収集方法検討 録音方法検討	事前学習	配布資料を読み、会話分析のグループワーク概要を理解する。
		事後学習	配布資料を読み直し、研究倫理について理解を深め、ワークシートを完成させる。グループワークの振り返りを書く。
第11回	会話の分析 演習2「文字化の規則」 文字化のルール 文字化の練習 ピア・レスポンス 調査準備	事前学習	配布資料を読み、音声データの文字化規則について概要を理解する。
		事後学習	配布資料を読み直し、音声データの文字化規則について理解を深める。グループワークの振り返りを書く。
第12回	会話の分析 演習3「音声データの文字化」 音声データの文字化作業 ピア・レスポンス	事前学習	文字化作業の準備をする。
		事後学習	グループワークの振り返りを書く。文字化作業を完了させる。
第13回	会話の分析 演習4「分析」 文字化データの検討 分析視点の検討 ピア・レスポンス	事前学習	配布資料を読み、会話分析の観点について概要を理解する。
		事後学習	配布資料を読み直し、会話分析の観点について理解を深める。グループワークの振り返りを書く。
第14回	会話の分析 演習5「発表準備」 分析結果の検討 発表準備 ピア・レスポンス	事前学習	分析結果をグループで検討できるよう準備しておく。
		事後学習	グループワークの振り返りを書く。
第15回	会話の分析 演習6「発表」 発表 フィードバック 談話分析レポート作成に関して	事前学習	発表準備を完了させる。
		事後学習	発表の振り返りを書く。 「文字化したデータ」、「グループワークの振り返り」、「分析結果の発表内容」をもとに「談話分析レポート」を書く。
期末試験			